

## 会議要録

|             |                                                                                                                                                                                                              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称       | 平成２９年度 第１回和光市文化財保護委員会                                                                                                                                                                                        |
| 日 時         | 平成２９年７月２４日（月） １４：００～１５：３０                                                                                                                                                                                    |
| 場 所         | 和光市役所 ５階 ５０３会議室                                                                                                                                                                                              |
| 出席者<br>※敬称略 | <p>【文化財保護委員】１０名の委員のうち９名が出席<br/> 田中 明、矢崎康彦、小田部玲子、鈴木敏弘、内田はま子<br/> 並木實、大平秀和、小柳一彦、関口泰典<br/> ※欠席：森 朋久</p> <p>【事務局】<br/> [教育委員会] 戸部教育長、星野教育部長<br/> [生涯学習課] 横山課長、鈴木課長補佐兼文化財保護担当統括主査、<br/> 文化財保護担当 岸主査・糸野主事・安井主事</p> |
| 傍 聴 者       | ０名                                                                                                                                                                                                           |

### １ 開会

### ２ 委嘱式

戸部教育長より各委員に委嘱書を交付。

### ３ 教育長あいさつ

本日は、委員改選後として、第１回目の会議となりますが、ご多忙のところ委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

さて、文化財保護行政において、文化財保護委員会は、非常に重要な役割を担っていると考えております。市指定文化財の指定に向けた諮問の際には、委員の皆様からご意見を頂戴し、答申をいただくことで、指定に至ります。今年度以降も、富士塚や越後山遺跡出土の豆痕土器・ヒスイ等、指定文化財候補のご審議を賜る予定となっております。

文化財は日本の歴史・文化等の正しい理解のため欠くことのできないものあり、かつ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるよう努めなければなりません。貴重な文化財を後世へ残し、伝えていくため、委員の皆様とともに、より充実した文化財保護行政を進めていきたいと考えておりますので、２年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、これからの各議題の審議をよろしくお願いいたします。

### ○事務局より説明・報告

- 市民参加条例第１２条第４項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 配布資料について説明。
- 森委員より所用による欠席の事前連絡をいただいている旨を報告。

## 4 自己紹介

各委員及び職員による自己紹介。

### ○ 文化財保護委員会と生涯学習課文化財保護担当の役割について

生涯学習課長補佐より、資料に基づいて説明。

## 5 協議・報告

### (1) 委員長・副委員長選出

#### ○事務局

和光市文化財保護委員会規則第5条の規定に基づき、委員長と副委員長を選出していただきたい。委員長には会議を主宰していただき、副委員長にはそれを補佐していただきたい。どなたか立候補される方はいらっしゃるか。もしくは推薦はあるか。

→【委員一同】立候補及び推薦なし。

#### ○事務局

事務局案を提示。田中明氏を推薦。

→【委員一同】異議なし。

→田中委員を委員長とする。

#### ○事務局

副委員長に立候補される方はいらっしゃるか。

→【委員一同】立候補なし。

#### ○事務局

では、副委員長の選出は委員長一任としてよろしいか。

→【委員一同】異議なし。

#### ○田中委員長

今期で5期目ということで、長年この文化財保護委員会でも活躍いただいている小田部委員にお願いしたいと思うがいかがか。

→【委員一同】異議なし。

→小田部委員を副委員長とする。

#### ○事務局

これ以後の議事進行については、田中委員長にお願いしたい。

## (2) 和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出について

### ○委員長

議題(2) 和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出について、事務局より説明願いたい。

### ○事務局

和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出について、概要の説明。

### ○委員長

立候補される方はいらっしゃるか。

→【委員一同】立候補なし。

事務局での推薦はあるか。

### ○事務局

並木委員にお願いできればと考えている。

→並木委員承諾

### ○委員長

並木委員にお願いするということによろしいか。

→【委員一同】異議なし。

→並木委員を和光市人権教育推進協議会会員及び理事とする。

## (3) 平成 28 年度文化財保護事業報告及び(4) 平成 29 年度文化財保護事業計画について

### ○委員長

議案について、事務局から説明願いたい。

### ○事務局

平成 28 年度文化財保護事業報告及び平成 29 年度文化財保護事業計画について資料に基づいて説明。

### ○田中委員長

事務局の報告について、質問やご意見、確認事項等はあるか。

### ○小田部副委員長

文化財パトロールということで、以前対応をお願いした経年により見にくくなっていた大いちょうの説明看板についてだが、先日見に行ってみたところ、見やすいよう改善が図られていた。看板にはデジタルミュージアムのQRコードも掲載されており、文化財保護行政のPRも含めて、対応に感謝を申し上げたい。

○鈴木委員

富士塚の文化財指定の目処はどれくらいか。

○事務局

市内の富士塚3つ併せての指定を考えている。下新倉氷川神社の富士塚については市で測量及び拓本採取を行える大きさや形質であるが、熊野神社の富士塚は規模がかなり大きく、また、浅久保浅間神社の富士塚は溶岩で形成されており、専門家による調査・測量が必要である。予算取りも必要であることから、あと数年を要すると考えている。

また、指定文化財は所有者の同意やご理解が必須なので、お話を伝えながら、進めていきたい。

○鈴木委員

人による実地測量だけでなく空撮による航空レーザ測量等、進化しており、方法も様々なのでよく検討して進めていただきたい。

○並木委員

広沢原の説明看板は西大和団地の建替え後、どこに配置する予定か。

○事務局

確認する。

※後日確認したところ、経年劣化により看板の文字が見にくくなっていたこともあり、2014年に看板を撤去した。

○並木委員

白子にある道路元標だが、数が少なく価値のあるものである。見栄えがよくなるよう、洗浄等を早期に進めてほしい。

○事務局

効果的な浄化方法を検討し、早々の改善に努める。

○並木委員

昔の行政文書が文化財保存庫にあるが、整理が進まず閲覧ができない状況。字は時間が経つと消えてしまうものもある。データ保存等へ向け、検討していただきたい。

○事務局

先日、埼玉県立文書館主催の専門研究委員会メンバーが、古文書の管理について文化財保存庫の視察に見えた。その際も、行政文書の活用や保存についてご意見をいただいた。

ご意見をふまえ、管理・活用方法を検討していきたい。

○田中委員長

土地の活用方法をはじめ、時代の経過の影響を大きく受けるのが文化財である。文化財保護の観点から、残していかなければならないものをしっかりと守る姿勢を改めて、認識していきたい。

その他、ご意見があれば。

○鈴木委員

デジタルミュージアムだけではなく、常設展示施設の必要性を、文化財保護委員会としては推していきたい。もちろん展示施設を作るとなると市全体の財政状況等に拠るところも大きくなるが、市の身の丈にあった資料館のような常設施設を作ることが望ましいと考える。デジタル化して現物を倉庫に置いておくだけではなく、実物を公開し、見てもらうことにも大きな意味がある。

また、古文書の保存という点からも、常設施設に専門の担当者をおいて保管・管理することで、より適切に活用できると思う。

○関口委員

広沢の総合児童センター等再整備事業の基本計画では、複数の機能を持つ複合施設を建設予定である。資料館単体での建築は難しいかもしれないが、複合施設の中の1つとしてであれば提案はできるのではないかと。

○田中委員長

複合施設でいえば、下新倉小学校もいい例である。複合施設の中に資料館を作ることができれば、子どもたちへの和光の歴史や文化の伝承、学びの場にもなっていく。

事務局には、今、委員各位よりいただいた意見をふまえて、文化財保護行政を進めていきたい。

その他、ご意見等はあるか。

○内田委員

白子囃子の太鼓の修繕について報告したい。

実演で使用する太鼓が経年により、ボルトが破損し、皮が薄くなっている。実演で支障がでてきているため、今年度、修理を行う。

○田中委員長

その他、ご意見はあるか。

→【委員一同】特になし。

## (5) その他

○田中委員長

その他、報告や協議事項があれば、お願いしたい。

○事務局

4点報告。

1. 白子囃子の実演で使用する太鼓の修繕について、白子囃子保存会会員である内田委員の上記説明に基づき報告。
2. 文化財指定候補の富士塚及び越後山遺跡出土遺物について、資料収集に努めている旨の報告。
3. 平成29年9月23日から9月28日の間に行う「午王山遺跡弥生時代遺物 文化財指定記念特別展」のPR。
4. 7月26日に諏訪神社で開催される祭礼について、和光市指定無形文化財の「白子囃子」の演奏があることを含めて周知。

## 7 その他

○田中委員長

その他事務局から何かあればお受けしたい。

○事務局

次回の審議会の日程は未定である。決まり次第連絡する。

○副委員長あいさつ

## 8 閉会